



1962年～現在 日本児童教育少年成長作家として、特に創作歌・児童歌
NKKK連帯奉仕の委員及び作家として活動。
1960～1990年 文化庁文化政策課・全通訳専門委員 兼任
文化庁文化政策課・全通訳専門委員 兼任
1997年～現在 信友会 代表理事 兼任
信友会 代表理事 兼任

小川 信夫氏

受賞歴	
1953年	日本児童劇作家協会賞（日本児童劇作家協会）
1962年	神奈川県教育功労賞（神奈川県）
1990年	川崎市文化賞（川崎市）
2007年	青田義典画賞（社団法人・日本児童青少年演劇協会）

・戦に及ん

- ・児童社会の子とてんとう虫(玉川大学出版部、刊)
- ・少子化時代、子供たちは今(玉川大学出版部、刊)
- ・図解が家族と子どもたち(玉川大学出版部、刊)
- ・子どもの心とこころマヨカ出版部、刊)
- ・教育の心(編者)編者会費センター、刊)
- ・子どもの心をつくる子読書会報誌(黎明書局、刊)
- ・学童担任のちよとした表現入門(黎明書局、刊)
- ・いすく取り組む学童の安全管理(黎明書局、刊)
- ・学童つくりかんたんに(黎明書局、刊)
- ・学童活動12月、中・高13月号(黎明書局、刊)
- ・わくわく遊びわくわくゲーム(黎明書局、刊)

大学出版
· 道德建设

- ・道徳指し方の疑問（聖明書院・刊）
- ・道徳・きみがいちばん光るとき（創読本）
 小学校（光村図書）
 中学校（光村図書）
 「創読本」著書及び編集責任

- ・中学教科書「国語 読物」に『モリスの城』
教育出版。昭和43年・刊

· 78 ·
[題 詞]

- ・「多摩川に虹をかけた。」（川崎市民間実行委員会）
- ・「池上幸喜とやぶら。」（川崎市民間実行委員会）
- ・「鶴屋、精形城、まじの舞い。」（川崎市民間実行委員会）
- ・「大いなる家来。」（川崎市民間実行委員会）
- ・「懐かなる歌子。花柳恋の物語。」（川崎市民間実行委員会）

[illegible]

※放送
再放送
VTR
大

昭和44年4月28日(月)
11 4 5 5 12 28
4 月 5 日
(土月)
19 9 9
、
00 50 50
5 5 5
20 10 10
、
00 10 10
(105 E
ス T
8 V)

みんななかよし

カゴの中の小鳥

第二回

VTR用

作 小 川 信 夫

音楽 桑 原 研 郎

担当 学校放送ノ班(6254)
丸谷

NHK ETV 放送台本

教育の四季

小川 信 夫

「序」より

小川君は「川崎の教育人」として、実に多彩な面で活躍し多くの実績を挙げた。中でも、未来を志向し新しい教育の要望にこたえて発足した「川崎市総合教育センター」の仕事こそは、その業績の集大成というべきであろう。（坂東忠彦）

小川君は、直観と洞察にひと際すぐれた児童心理学者であり、研究と情熱の渾然とした教育実践家である。そして彼の胸の奥底には、不滅の火となって児童愛が燃えたぎり、ペスタロッチの「人を愛する道はこれを教育するにある」の至言が行動規範となって教育実践を展開してきた。（大内昌雄）

少子家族
子どもたちは今

小川信夫



第42回 「斎田喬戯曲賞」

「多摩川に虹をかけた男-田中兵庫物語-」

小川 信夫 殿

社団法人 日本児童演劇協会





第42回「斎田善献治賞」
「多摩川に虹をかけた男-田中真樹郎-」
小川 信夫 殿
社団法人 日本児童演劇協会



第42回「斎田喬戯曲賞」

「多摩川に虹をかけた男-田中兵庫物語-」

小川 信夫 殿

社団法人 日本児童演劇協会



